事業番号　0312

平成２４年行政事業レビューシート　（農林水産省）

事業名	合理的資源管理推進事業	担当部局庁	水産庁	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成20年度～平成24年度	担当課室	資源管理部　管理課	管理課長　熊谷　徹
会計区分	一般会計	施策名	⑮水産資源の回復	
根拠法令（具体的な条項も記載）	―	関係する計画、通知等	水産基本計画（平成１９年３月２０日　閣議決定）	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

我が国排他的経済水域（「EEZ」）における海洋生物資源の保存及び管理を図るため、漁獲可能量（TAC）制度や漁獲努力量（TAE）制度の的確な運用を行うとともに、我が国EEZで操業する外国漁船の確実な管理を行う。

事業概要（5行程度以内。別添可）

（1）「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律」に基づくTAC制度及びTAE制度を的確に運用するための我が国漁業による漁獲情報等の集計・解析及びデータベースシステムの保守管理。
（2）TAC制度の下で不合理な漁獲を回避しつつ、漁期別・海域別に高収益をあげるための合理的操業モデルの作成。
（3）韓国・中国・ロシアとの漁業協定に基づき我が国EEZで操業を行う外国漁船の出入域報告、漁獲報告等の報告データの集計・解析及びデータベースシステムの保守管理。

実施方法　□直接実施　■委託・請負　□補助　□負担　□交付　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算	223	203	192	173	―
	補正予算	―	―	―	―	
	繰越し等	―	―	―	―	
	計	223	203	192	173	―
執行額		221	203	192		
執行率（%）		99%	100%	100%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（24年度）
資源評価において、中位又は高位水準の魚種（系群）の比率 ※下段（　）書きは年度目標値、上段は年度実績値	成果実績	%	55.9（48.5）	59.5（50.5）	60.7（53.1）	過去直近5年間の平均値より増（各年）
	達成度	%	115.3	117.8	114.3	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
TAC対象7魚種に対して適切な漁獲管理を実施するため、本事業により迅速かつ的確なデータ収集体制を維持する（システム利用率＝本システム（TACシステム）による報告件数／TAC報告総件数）	活動実績（当初見込み）	システムによる報告件数	255,605	243,016	158,202	―
		%	99.8（99.0）	99.8（99.0）	98.9（99.0）	

単位当たりコスト　1,183円（円／システムにより集計・解析した件数）

算出根拠　単位当たりコスト＝合理的資源管理推進事業費実績額（189,146千円）／TACシステムにより集計・解析した件数（報告総件数：159,944件）
21年度：861円／件、22年度：832円／件

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
①漁獲可能量の適切な管理	163	―	24年度終期
②合理的操業モデルの構築体制整備	3	―	
③外国漁船漁獲量等集計・管理	7	―	
計	173	―	

事業所管部局による点検

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	法律第17条の規定により漁業者は報告義務が課されているが、本事業は、採捕数量等の漁獲情報を迅速かつ的確に集計・管理、解析等を行うデータベースシステムを構築するものであり、TAC制度等の実施に不可欠なものであることから、国が実施すべき事業であり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者に対するアンケートの結果、公示時期の早期化、企画書等の作成期間の十分な確保及び業務着手準備期間の十分な確保等が改善点としてあがったことから、公示期間を延長し、企画書等の作成期間及び業務着手の準備期間の確保に努めたが、新たな提案者はなく一者応札となった。 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災により、操業ができないこと等による報告の対象数が減少したことにより、単位あたりのコストは増となったものである。 本事業は、国の重要な政策であるTAC制度の実施に不可欠な漁獲情報等の集計・解析並びにネットワークシステムの維持管理等を行う事業であり、予算を有効に活用し本事業に最も合致した提案を選定するため、企画競争による随意契約により実施している。
	×	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	東日本大震災の被災を受けた団体のシステムが不通になったことに伴い、紙報告の件数が増えたため活動実績が前年度を若干下回ったが、システムが順次復旧しつつあり、今後システムの利用率も上がるものと思われる。 本システムにより迅速かつ的確に漁獲情報の集計・管理、解析が可能となり、TAC枠等の管理において十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	

点検結果

22年度において1者応札であったことを踏まえ、23年度は事業者に対するアンケートを実施し、具体的な改善策として公示期間を延長し、企画書等の作成期間及び業務着手の準備期間の確保に努めたが、結果として1者応札であった（4月1日付け契約を締結し事業開始）ことから、24年度の実施に際して、あらためて事業者に対するアンケートを実施し、その結果を踏まえて公示時期の早期化及び延長、企画提案書の提出までの期間の延長を行い、企画書等の作成期間及び業務着手の準備期間の更なる確保に努めた。

予算監視・効率化チームの所見

－

本事業は、24年度で終了の事業であるが、23年度においては、資金の流れのAについて、2年連続で1者応募である。また、単位当たりコストが増加している。加えて、人件費については、コストの更なる削減が可能と考えられる。また、活動実績において、当初の見込みを下回っている。以上のことから「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「単位当たりコストの削減」、「コストの削減」、「活動が活性化するような支援方策の見直し」を行うべきである。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

（24年度限りで終了）現状通り

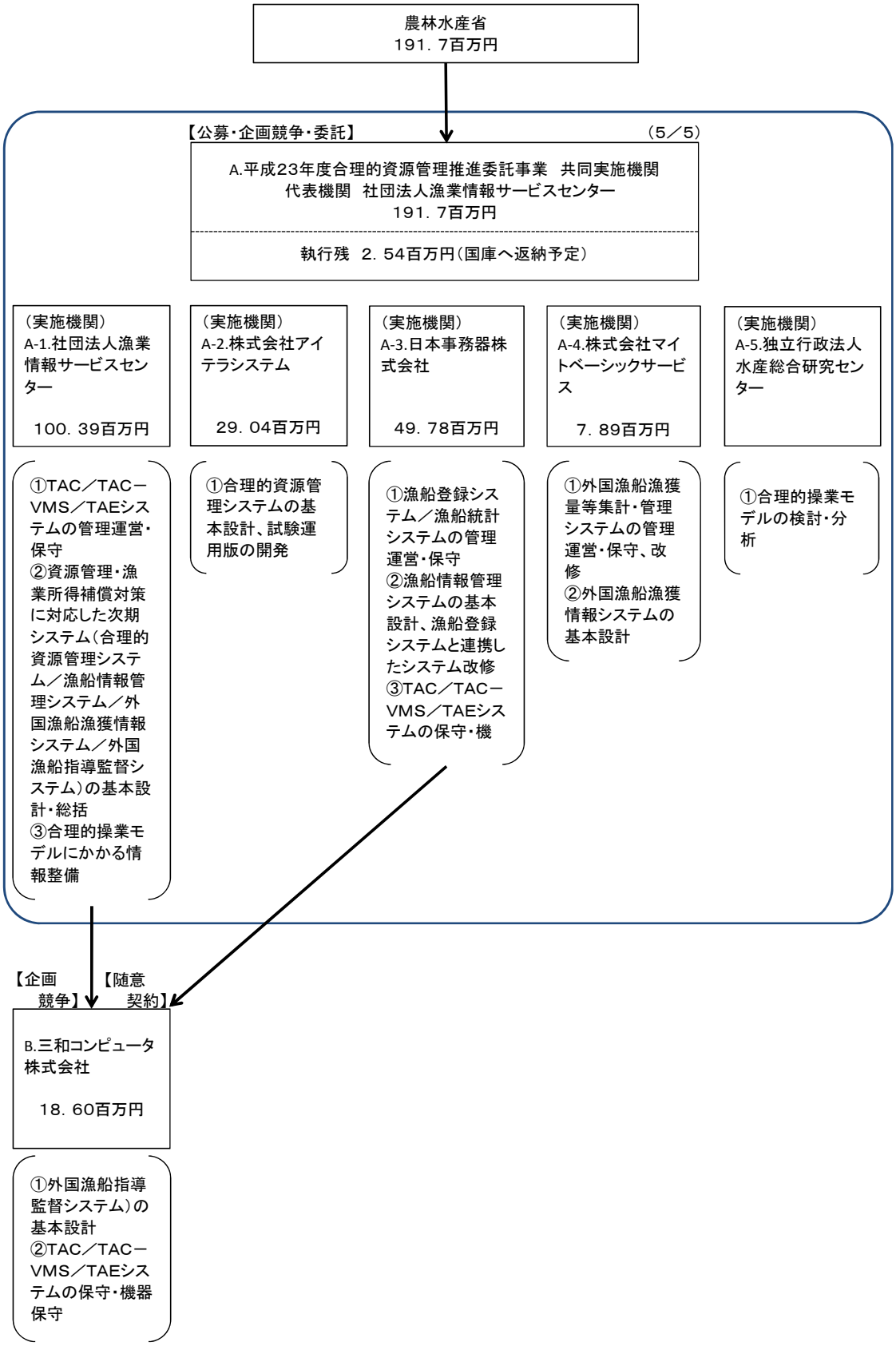
平成24年度限りで終了

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー	0431	平成23年行政事業レビュー	0307

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A-1.社団法人漁業情報サービスセンター

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費	TAC／TAE／外国漁船システムの管理・データ入力要員費ほか（13人・7,884時間、2人・456日）	38.67
機器整備費	専用端末等機器リース費、ソフトウェア管理費	34.78
諸経費	TAC／TAC－VMS／TAEシステムの管理運営・保守等に係る管理運営費	12.07
その他	通信運搬費、会議費、会議資料印刷費、魚体購入費等	6.49
外部委託	G.三和コンピュータ株式会社 外国漁船指導監督システム基本設計業務	4.31
旅費	TAC・TAEシステム現地調査旅費、システム担当者会議出席旅費ほか	4.08
計		100.39

A-2.株式会社アイテラシステム

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費	合理的資源管理システムの基本設計要員費ほか（6人・3,252時間）	28.11
諸経費	合理的資源管理システムの基本設計等に係る運営事務費	0.93
計		29.04

A-3.日本事務器株式会社

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費	漁船情報管理システムの基本設計要員費ほか（14人・3,849時間、1人・14	31.84
外部委託	G.三和コンピュータ株式会社 TAC/TAC-VMS/TAEシステム保守業務	14.29
諸経費	漁船登録システム／漁船統計システムの管理運営・保守等に係る運営事務費	2.80
保守費	漁船登録システム／漁船統計システムの保守費	0.85
計		49.78

A-4.株式会社マイトベーシックサービス

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費	外国漁船漁獲量等集計・管理システムの管理運営・保守要員費ほか（3人・1,473時間）	7.73
諸経費	外国漁船漁獲量等集計・管理システムの管理運営・保守等に係る運営事務費	0.15
計		7.89

A-5.独立行政法人水産総合研究センター

費 目	使 途	金 額（百万円）
旅費	合理的操業の制度実態や安定供給に果たす役割に関する現地調査旅費	0.89
物品購入費	解析機器・ソフトウェア、関連図書	0.48
人件費	合理的操業モデルの検討・分析に係る整理補助員（2人・58日）	0.46
諸経費	合理的操業モデルの検討・分析に係る管理運営費	0.22
計		2.04

B.三和コンピュータ株式会社

費 目	使 途	金 額（百万円）
保守費	TAC／TAC－VMS／TAEシステムの保守・機器保守要員費	14.29
設計費	外国漁船指導監督システム基本設計要員費	4.31
計		18.60

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A-1.平成23年度合理的資源管理推進委託事業　共同実施機関

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1	A-1.社団法人漁業情報サービスセンター	TAC/TAC-VMS/TAEシステムの管理運営・保守等	100.39	随意契約 【企画競争】	―
2	A-2.株式会社アイテラシステム	合理的資源管理システムの基本設計	29.04		
3	A-3.日本事務器株式会社	漁船登録システム／漁船統計システムの管理運営・保守等	49.78		
4	A-4.株式会社マイトベーシックサービス	外国漁船漁獲量等集計・管理システムの管理運営・保守、改修等	7.89		
5	A-5.独立行政法人水産総合研究センター	合理的操業モデルの検討・分析	2.04		
6					
7					
8					
9					
10					

B.三和コンピュータ株式会社

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1	三和コンピュータ株式会社	TAC／TAC－VMS／TAEシステムの保守・機器保守要員費	14.29	随意契約	―
2	三和コンピュータ株式会社	外国漁船指導監督システム基本設計要員費	4.31	随意契約【企画競争】	―
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					